

実務者会議（障がい支援部会）のすすめ方・内容について

総合サポートシステムの実質的な構築を目指して

◆事務局提案

ねらい	会議で行う内容
ア 関係機関・組織における 相談・支援施策について 情報共有	① 各機関毎に「事業調書」を作成 ライフステージ毎：乳幼児期・学童期・就労期 ② ①を基に支援体系図を作成（「事案別支援フロー」へ反映） ③ 事例検討
イ 障がい児・者のおかれています 状況の把握	① 障がい児・者のおかれています現状について、情報交換 ② 個別ケース検討会議の事例あるいは各機関における困難事例の分析→問題をかかえる事例の把握 ③ 県の取り組みについて情報共有 ④ 事例検討
ウ 相談・支援の方策及び連携 強化の方法について検討	① すまいるファイルの内容（「支援の記録」を中心に）・活用方法について検討 ② その他必要と思われる方策について検討 →代表者会議等へ提案 ③ 実務者対象研修会の持ち方・テーマ等について検討
エ 周知・啓発方法について 検討	① 一般市民向け講演会のテーマ等について検討

◆関係機関からの提案

機関・団体名	提案内容
三条市小学校長会	1 「すまいるファイル」の取扱いについて（活用や配付も含めて） 2 各機関・団体での取り組み方についての考えや方向性（各機関・団体における組織づくりや活動への期待も含めて） 3 当部会の使命（目的）と今後の活動内容について
県立月ヶ岡養護学校	・療育手帳をとれない発達障がい者用の手帳の交付、それに準じたサービスの提供について ・施設の増設、施設利用に対しての交通手段の確保について
三条市私立幼稚園連盟	・全家庭にこのサポートシステムのあることを、もっと広く周知してもらうためにはどのようにしたら良いか（園からの情報と書して公からの呼びかけを） ・相談やサポートの必要な場合、幼児期と就学直前の相談窓口が違っている（子育て支援課・学校教育課）ために、不便があった。この「サポート会議」により一元化されることを期待している。
三条市私立保育園連盟 連絡協議会	・以前に障がいを抱える子が3～4人入園し、保護者と保育士、市の相談員を交え、年数回話し合いの場を設けたことにより、お互いの考えを理解し、安心感が持てた。 ・乾布まさつを行っているので、上半身裸になる時に視診をしている。
三条市手をつなぐ育成会	実務者がそれぞれ持っている地域での問題や課題を、ライフステージに合わせて検討していく。
三条市児童館・児童クラブ	障がいを抱える子ども・若者とその家庭への支援の実情を聞かせてもらい、支援部会で確認し、共通理解が出来ればよいと思う。また、どのような支援を必要とされているかも知りたい。